

重点事項に関わる本年度努力事項と具体的取り組み（その1）

重点事項：学力の向上による進路保障		主担当	スケジュール	備考「冊子」	
<p>（年度努力事項） 授業力の向上</p> <p>（目指す姿） 教員が自分の授業力を向上させるために日々研修に練磨することで、生徒が満足できる授業が展開され、それが学力面に好影響を及ぼす。</p> <p>（現状） 本校は研修の場が多く、教師の授業の質も自ずと高くなり、生徒の学力面にも好影響を及ぼしている。</p>	<p>具 体 的 取 り 組 み</p>	<p>1 教科内での連絡を密にし、授業シラバスを確立し、適切な教材の共有化を図る。</p> <p>2 模擬試験の問題分析を行い、授業力の向上に努める。</p> <p>3 7月と12月に授業評価を実施し、問題点を明確にし、授業の改善を行う。</p>	<p>学年</p> <p>進路</p> <p>学力向上</p>	<p>随時</p> <p>進研記述模試</p> <p>随時実施</p>	<p>随時アンケート実施</p>
<p>（年度努力事項） すべての生徒の学力の向上</p> <p>（目指す姿） 生徒が日々の授業に知的好奇心を燃やして主体的に参加し、学ぶことの楽しさを体感し、潜在的な力を向上させる。</p> <p>（現状） 朝学習や補習、検定等により継続的な指導ができています。</p>	<p>具 体 的 取 り 組 み</p>	<p>1 平成25年度新教育課程を円滑に実施するために、バランスの良い時間割を作成する。</p> <p>2 朝学習の内容を精選し、基礎基本事項の定着を図り、補習や面談を通して、学力不振者へ丁寧な指導を行う。</p> <p>3 専門科目の着実な定着を図るために学科や学年に応じた指導を行うとともに、全商主催検定1級の取得率の向上に努める。</p>	<p>教務</p> <p>学年・進路</p> <p>商国</p>	<p>5月実施（教務）</p> <p>放課後、土曜日、長期休業中実施</p> <p>通年</p>	<p>アンケート実施</p>
<p>（年度努力事項） 進路実績の向上</p> <p>（目指す姿） 第一志望届により、早期に目標設定させる指導により、質の高い学習を継続させ、進学校として着実な実績を残す。</p> <p>（現状） 第一志望届の存在を重視する教職員が多く、早期目標が設定でき、進路実現にもつながっている。</p>	<p>具 体 的 取 り 組 み</p>	<p>1 第一志望校決定に際し、主任面談を実施し、進路実現に向けての意欲を高める。</p> <p>2 実力考查結果を各教科、個々の生徒について検討し、『個人カルテ』を有効に利用した面談等を通じて、進路指導に生かす。</p> <p>3 学年別に進路研修会を持ち、生徒の学習状況や大学入試情報を共有し、生徒の進路実績向上に努める。</p>	<p>2 学年</p> <p>3 学年</p> <p>学年・進路</p>	<p>2年1月以降</p> <p>模試終了後</p> <p>スタディサポート分析</p> <p>新課程入試</p> <p>大学入試動向</p>	

重点事項に関わる本年度努力事項と具体的取り組み（その2）

重点事項：豊かな人間性を持った生徒の育成		主担当	スケジュール	備考「冊子」		
<p>（年度努力事項） 規律ある態度の育成</p>	<p>（現状） 生活3原則を尊重する組織集団となっているが、生徒の質に変化が見られる。</p>	<p>具 体 的 取 り 組 み</p>	<p>1 生活3原則の徹底。特に、登校時の生徒の様子を把握し、心のこもった挨拶ができるように働きかける。 2 部活動の活性化を推進しながらも、効率的な練習計画により学習との両立を図る。 3 体育大会・コーラス大会などとおして、クラスの一員としての意識を高めるとともに、学校行事を通じてクラスをまとめるリーダーを育成する。</p>	<p>生徒指導 学年 生徒指導 学年</p>	<p>毎日校門指導実施 部長会議を学期に2回 行事毎</p>	
<p>（目指す姿） 自己を律する精神を涵養し、個人と集団との関係を思慮し、相手のパーソナルを尊重できる生徒を育成する。</p>						
<p>（年度努力事項） ボランティア体験の実施</p>	<p>（現状） 真面目に取り組める生徒が多いので、多くの生徒に体験学習を積ませたい。</p>	<p>具 体 的 取 り 組 み</p>	<p>1 生徒会行事に積極的に参加し、学校周辺の清掃活動を実施することで、奉仕精神を高める。 2 寺子屋交流事業や老人ホーム訪問、実験観察教室など「高校生ふるさと貢献活動」に積極的に取り組むことで、地域との連携を深める。</p>	<p>生徒指導 総務</p>	<p>6月と12月にクリーンキャンペーン実施 随時実施</p>	
<p>（目指す姿） 進んで奉仕活動に従事することで、体験学習の大切さや喜びを学ぶ。そして、地域との連携を深め、信頼の置かれる生徒を育成する。</p>						
<p>（年度努力事項） 人権教育の充実</p>	<p>（現状） 生き方HRについて、3班構成で研修の場が持たれ、学校全体で取り組んでいる。</p>	<p>具 体 的 取 り 組 み</p>	<p>1 人権教育講演会、各学年の「生き方ホームルーム」を充実させる。 2 海外の人々との交流を通して、文化や価値観の多様性を認識させる。 3 教育相談を充実させるとともに、カウンセリングマインド研修会を実施する。</p>	<p>人権 国際理解 保健</p>	<p>JICA エッセイコンテスト応募。7～8月タイ国際交流研修。9月オーストラリア生徒受け入れ。11月タイ生徒受け入れ。 ・教育相談 (年間30回予定) ・職員対象の研修会 (「カウンセリングマインド」を予定)</p>	
<p>（目指す姿） 人間尊重の精神を涵養し、日常生活において人権を尊ぶ態度を育てる。自らを見つめ、よりよい生き方を追求できる人間を育成する。</p>						

重点事項に関わる本年度努力事項と具体的取り組み（その3）

重点事項：地域に信頼される学校づくり		主担当	スケジュール	備考「冊子」	
<p>（年度努力事項） 情報発信の手段と内容の充実</p>		<p>1 HP、学校公開、学校評価の充実と学校案内パンフレットを充実させる。</p> <p>2 新しい手法を駆使したホームページを作成し本校の特色を強くアピールする。</p> <p>3 探究発表会を小野エクラで実施する。探究発表会の講評を大学の教職員に依頼する。</p>	<p>情報図書 総務・学年 学校評価 情報図書</p>	<p>随時実施</p> <p>随時更新</p>	
<p>（目指す姿） HP、学校公開等で最新の情報を発信し、保護者・地域住民等に情報を提供し、理解と参画を得て連携協力を進める。</p>	<p>（現状） HPの充実により、保護者や地域に対して学校の情報を的確に発信している。</p>		<p>科学総合</p>	<p>3月下旬に探究発表会実施（次年度に「探究論文集」刊行）</p>	
<p>（年度努力事項） 教職員の意識の高揚</p>		<p>1 7、12月に学校評価アンケートを実施し、PDCAサイクルを機動化させて教育活動を活性化させる。</p> <p>2 学期ごとに「生き方ホームルーム」の事前研修会を実施し、人権意識の向上を図る。</p> <p>3 学年団だけでなく、部活顧問や教科担当者との情報交換を密にし、生徒理解に努める。</p>	<p>学校評価</p>	<p>7月と12月に実施</p>	
<p>（目指す姿） 学校評価制度が明日からの小野高校をよりよい方向へと進ませる指針とし、教育活動の活性化につなげる。</p>	<p>（現状） 学校評価を効果的に活用することで、教職員の問題意識を高めている。</p>		<p>人権 学年</p>	<p>随時</p>	
<p>（年度努力事項） 地域との連携</p>		<p>1 商業科・国際経済科全員と普通科希望者へのインターンシップをとおして、地域との連携を図る。</p> <p>2 地元企業と連携した販売実習や専門科目の授業を利用した商品開発、地域の課題解決の調査研究活動を実施する。</p> <p>3 サイエンスパートナーシップ事業で兵庫教育大学と高大連携を行うSPP事業を実施。</p>	<p>インターンシップ^o 商国 科学総合</p>	<p>5月下旬～11月上旬 （実習は8月中） 通年（商国） 7～10月にかけて実施</p>	<p>インターンシップ^o 報告書 冊子の作成 感想文の提出</p>
<p>（目指す姿） 学校・家庭・地域が三位一体となり、お互いが連携することによって、質の高い組織体となり、開かれた学校づくりに邁進する。</p>	<p>（現状） 地域と積極的に連携することで、本校の事業に対する理解を得ている。</p>				